

令和4年5月

普及活動報告

ケーブルテレビで技術を伝える！ ～黒大豆のほ場準備について～

(京丹波町：10日)



ほ場での撮影の様子



配付している排水診断システム

京丹波町情報センターの協力を得て、ケーブルテレビの農業情報コーナーで様々な技術情報を発信しています。今回は黒大豆の作付け準備として、播種前の種子処理と排水対策の重要性について、排水溝の設置などを畑で実例を示しながら紹介しました。また、普及指導の新たなツールとして普及センターで作製した排水診断システムを紹介しました。

番組については5月14日（土）からケーブルテレビにて1週間放映されました。また、排水診断システムについては、南丹普及センターのホームページにおいて配布希望者の申込みを受け付けています。

場 所 京丹波町中

ケーブルテレビ放送回数：令和4年度 23回（予定）
令和3年度 18回

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年5月

普及活動報告



穂の状態を確認



団地毎に子実水分を測定し刈取適期を予想

～ビール麦の品質向上と数量達成を目指して～関係者でほ場巡回し収穫時期を確認

(亀岡市：17日)

亀岡市のビール大麦の収穫期を前に、刈取適期判断のため、関係機関でほ場巡回を実施しました。

巡回では団地毎に子実水分を測定し、収穫時期を予測して収穫の段取りを検討しました。

今年は好天続きで、前半は円滑な刈取りが予想され、150tの契約数量達成が期待できる状況です。普及センターは後半に向けても巡回指導などで支援していきます。

場 所 亀岡市大井町、河原林町、
馬路町ほか

出席者数 7名

令和4年産栽培面積：94ha

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年5月

普及活動報告

伏見とうがらしの安定出荷に向けて ～ 京丹波町・栽培ほ場を巡回 ～

(京丹波町：18日)



関係機関と生育状況や病害虫の発生の有無等
を確認

京丹波町の主要なブランド産品である伏見とうがらしのほ場を関係機関と巡回し、現在の生育状況を確認するとともに、病害の初発等を認めた際における今後の対策を助言しました。

ハウスは4月中旬に、露地では5月中旬に定植されており、いずれも生育は概ね順調でした。

普及センターでは今後も関係機関と連携して定期的に栽培ほ場を巡回し、伏見とうがらしの安定出荷に向けて支援していきます。

場 所 京丹波町丹波地区

和知地区は5月23日に、瑞穂地区については5月25日にほ場巡回を実施
令和4年産京丹波町内伏見とうがらし生産者：41戸

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年5月

普及活動報告

瑞穂小学校5年生食育活動支援！

～お米について知ってみよう～

(京丹波町：23日)



普及センターからの説明

京丹波町立瑞穂小学校の5年生(23名)を対象に食育活動を行いました。水稲を生産している(株)鎌谷が苗づくりと田植えの方法について説明され、普及センターからは米づくりの手順や米の年間消費量が減少傾向にあることを伝えました。田植えの体験も行い、農家の方々のご苦労や、お米を食べることが田んぼを守ることに繋がるということについて小学生に考えてもらう良い機会になりました。

今後は9月頃に稲刈り体験をする予定です。おいしいお米を食べるのが楽しみだという声が聞かれました。普及センターは地域への興味を育む食育活動を支援していきます。



田植え体験

場 所 京丹波町東又

出席者数 34名

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年5月

普及活動報告



開講式の様子



稲やナス苗の実物を使用した講義

令和4年度受講生：20名（就労支援事業所：3名、亀岡市：3名、南丹市：5名、京丹波町：9名）

講座回数：全7回（11月8日まで）

～京都丹波農業を支える新たな担い手を支援～京都丹波就農サポート講座開講式を開催

（24日）

地域農業の中核的農家を目指す新規就農者等の農業基礎技術の修得を目的に令和4年度京都丹波就農サポート講座を開講しました。

開講式では、南丹広域振興局農林商工部長の激励あいさつ、受講生から1分間の自己紹介後、当普及センター所長の激励で締めくくりました。

講座では、普及センターの職員が地域農業の概要、水稻、夏野菜の栽培基礎について講義を行いました。今年度は全7回の講座で、局の森づくり振興課等と連携し、栗栽培の基礎の講座も行う予定です。

受講生からは、「畑ばかりに気をとられていたが、講義を聴いて水田にも興味が出た」「今まさにやっている農作業で、ためになった。あとは実践で身につけたい」等の感想が寄せられました。普及センターは今後も、新たな担い手の農業基礎技術の習得を支援していきます。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 35名

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年5月

普及活動報告

南丹市美山町大野農事組合で斑点米カメムシ類の研修会を実施

(南丹市：26日)



研修会の様子

大野農事組合では、近年被害が大きい斑点米カメムシ類について知識を深め、農事組合としての取組を検討するため研修会を開催しました。

研修会では、普及センターから令和2、3年度に美山町で実施したすくいとり調査の結果をもとに、地域での発生状況や防除のポイントについて説明しました。

大野農事組合では、今後、地域での斑点米カメムシ類対策について組合員の意見を集約し、農事組合としての取組内容を検討する予定です。

場 所 南丹市美山町大野公民館
出席者数 17名